

12月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇 慎夫 市長

平成20年第5回定例会が12月3日に開会された。定例会初日には、議長・各特別委員会委員長の報告、また、門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。

市長会議

十月七日、第百十四回高知県市長会議が開催され、二十七の議案が提出、採択された。本市からは、「地方分権と権限委譲について」「高知県森の腕たち育成事業について」「学校施設の耐震化推進に関する財政的支援等について」の三議案を提案した。

十月十五日には、徳島県で、第百二十五回四国市長会議が開催され、「地方行政の充実強化について」「福祉行政等の充実強化について」「保健・医療行政の充実強化について」「山村・過疎地域の振興について」「都市基盤整備の充実強化及び防災・災害対策について」の五議案が提出、採択された。

新庁舎建設



ストックヤード（物部町）

実施設計では、各課の机や事務機器の配置等も決まり、構造計算や電気設備設計の進捗率が上がってきた。IT設計では議会中継システムの概要設計がほぼ固まった。

実施設計の基礎データ収集のため、九月下旬から十月上旬にかけて免震構造用の地質調査及び音波測定を行った。ボーリングは地下五十七メートルまで行ったが、五十メートル過ぎで堅固な支

地域間交流

十月十七日から二十日まで、松井積丹町長を団長とする総勢七人の訪問団が来市、第二十七回刃物祭りに参加。出店の北海物産市場で、市民との交流が行われた。歓迎会には今年のYOSAKOIソラン祭りに派遣された踊り子など六十人を超える参加があった。

翌十八日には積丹町立余別小学校と縁のある土佐山田平山地区で交流会が開かれ、地域住民らと旧交を温めた。

物部川 川祭り

十一月九日、物部川河川敷において「物部川 川祭り」が開催された。いざなぎ流神事執行のあと、いざなぎ流の御幣切り教室や紙

すき、環境に関するパ
ネル展示、鹿肉や鮎な
どの試食や販売などの
コーナーが設けられ、
大勢の人で賑わった。

県主催「対話と 実行」座談会

十一月十三日、中央
公民館で住民と尾崎知
事による「対話と実行」
座談会が開かれた。座
談会は参加者十一人と
傍聴者百十人で行われ、
知事から県政方針等の
説明があつた後、農業、
林業、教育、福祉、地
域づくり等について参加
者から多様な意見が出
された。また、傍聴者
からも意見が出され、そ
れぞれに知事から丁寧
な説明や回答がされた。

消費生活対策

多重債務問題が深刻
な社会問題になつてい

ることから十一月二十
六日に香美市消費者生
活講座を行った。高知
弁護士会の大塚弁護士
による「身近に起こる
クレジット・サラ金被
害の現状について」を
テーマに講演があつた。

本年四月から多重債
務の相談窓口が市町村
に設置され、現在まで
に九件の相談があつた。
来年三月十四日には、
高知弁護士会および司
法書士会による無料相
談会をプラザ八王子で
実施する。

都市計画道路 高知山田線

都市計画道路高知山
田線（通称あけぼの街
道）は平成二十一年度の
完成を目指して事業を
進めていたが、楠目地
域での立体交差部につ
いてJRとの協議が遅
れ、完成年度が二十三
年度になる。県は国土
交通省に事業認可変更

申請を行い、事業期間
は平成二十四年三月三
十一日まで延長された。

土木工事

辺地事業で取り組ん
でいる市道後入線は七
五%、有谷線は九〇%、
谷相線は五〇%の進捗
状況で、過疎事業の市
道・大平線は進捗率が
八〇%となり、猪野々
西線の用地測量委託業
務についても順調に進
んでいる。いずれも年
内に完成の予定だ。

林業振興

昨年、パートナーズ
協定を締結した（株）
ルネサステクノロジと
の協働の森づくり事業
を開催した。高知工科
大学との協働の森づく
り事業は、雨天のため
中止となったが、今後

も引き続き植栽や間伐
などの森林整備を進め、
物部川の濁水や濁水な
どの環境保全活動に取
り組んでいく。

有害鳥獣被害

有害鳥獣捕獲は七月
から十月にかけて予察
捕獲を行い、ニホンジ
カ五百四十八頭を捕獲
し、十一月までの累計
捕獲数は千二十八頭と
なった。平成二十年度
の有害鳥獣による被害
金額は千五百七十五万
円以上となっている。

国指定剣山山系鳥獣
保護区が期限切れを迎
えるが、環境省より期
限の更新と区域の拡大
案が示されている。有
害鳥獣捕獲を進めてい
く上で大きな障壁にな
ると考えられ、各関係
機関と調整を図りなが
ら市としての考えを醸
成していく。

保育園建設

平成二十一年開園予
定の「なかよし保育園」
の建設工事は工期を二
十一年二月末と予定し
ている。現時点では基
礎工事が終了し、園舎
の建築に取り掛かって
おり、約四〇%の進捗
率となっている。

香美市立美術館 第二十回企画展

（き）と土佐の仏像」展
が、県内九つの寺の協
力を得て重要文化財六
体を含む二十五体の仏
像と写真とのコラボレ
ーション展を開催した。
三十八日間の会期中一
万三千八百二十四人の
来館者があり、一回の
企画展としては過去最
高の動員数となった。
本展は特にリピーター
が多く、県内のみなら
ず、本州からの来場も
多くあつた。

「古仏との対話―井上
芳明（いのうえよしあ



上分大日堂 大日如来像